朝の礼拝・校長講話7

相互変容をもたらすクラス

2026・10・14　校長　重枝一郎

私は，クラスの人間関係づくりにおいて，いつも，そのクラスのメンバーの相互変容を期待しています。これから，体育祭，修学旅行などの大きな行事もあります。みなさんには，今日の話を生かしてもらえたらと思います。

クラスの中で，「あの人はおとなしくて消極的」「もっと積極性があれば」という声を聞きます。このような曖昧な言葉は，ある意味終わりなきプレッシャーを与え続けることになります。あまりにも強く「こうあるべき」と求めることは，実はその集団を硬直させます。

私の経験上，クラスの人間関係は個人の「能力」だけでなく，個人の「持ち味」の組み合わせでおもしろくなると思っています。実際，メンバーの組み合わせを変えるだけで，停滞していた活動が活発に動き出したり，目立たなかったメンバーが活躍したりすることは何度も見ました。クラスというものは，人と人との関わりで変わります。

人は基本的に常に揺れていると思います。だから，ある瞬間の状態を切り取って，「あいつは消極的」と断定するのは不自然だと感じます。クラスをチーム化する時は，個の能力のせいにせず，それぞれの持ち味をどう組み合わせるかを考えることが大切です。

私は担任時代に，グループで活動させる時，活動の振り返りに**「３つのリーダーシップ」**を話していました。全員が持ち味を活かしたリーダーシップを取り合っていることを認識させるためです。ある意味「凛ちゃんを探せ」のようなものです。この「３つ」とは，**①アグレッシブリーダー（積極的）　②ゲームメーカーリーダー（戦略的）　③ムードメーカーリーダー（癒し系）**としていました。グループでの活動をする際，一人一人，コミュニケーションスタイルは当然違います。その違いが組み合わさって，相互変容をもたらしていることに気づかせたいと思っていました。私は，特に③に名前が書かれがちな，目立たないけど，クラスの中で重要な役割を担ってくれている，癒し系的な存在の大切さをみんなが理解することが，クラスづくりで最初にすることだと考えていました。

一般的にコミュニケーション力とは，理路整然と自分の考えを言語化し，能動的に発信するといったイメージが強いと思います。確かにそういう空気があります。これは，上に書いた①と②のスタイルに近いと思います。しかし，クラスはそういう人だけで成り立っていないのです。

以前，ある人の本を読みました。その本の中で，チームの機能を車の機能に例えていました。例えば，チームを引っ張っていく言動をする「アクセル」，これはあまりよくないとストップをかける「ブレーキ」，ストップまではかけないが示唆的な「クラクション」，客観視を促す「メーター」，横道にそれない「ナビ」，微調整する「ウインカー」，円滑に進める「オイル」，雰囲気を良くする「エアコン」，安心感をつくる「ボディー」等です。私の「３つのリーダーシップ」も同じような考えになります。特に，③の「ムードメーカーリーダーシップ」は，車の機能では「ウインカー」「オイル」「エアコン」のようなことで，人で言えば癒し系の言動ができるリーダーということになります。

コミュニケーションスタイル，リーダーシップの取り方は様々です。しかし，組み合わさることで相互変容をもたらします。それが，みんなが安心できるクラスの機能を高めます。

ある小学校の先生が「僕は星を見ないで，星座を見るようにしている」と話していました。その言葉から，人と人との関係性によって相互変容できるという信念のようなも

のを感じました。みなさんも一人一人がつながって，素敵なクラスになる相互変容を起こすことができます。これはクラスだけでなく，生徒会活動，部活動，はないちのグループ研究，体育祭のブロック応援，修学旅行の班行動等，全てにおいて，相互変容をもたらします。

　みなさんは、自身の個性を大切にすると同時に，自身の周囲にいる仲間たちの個性も大切にすることが求められます。他者を尊重する，他者の個性を積極的に評価する，それなくして学校生活の魅力を高めることはあり得ません。ぜひ，自身の周りにいる仲間の個性を尊重してください。その上で自らの個性を伸ばすという意識を思ってください。そして，そのお互いの個性を学び合ってください。

お祈りをします
主なる神様
いつも一人一人の生徒たちを見守っていただいていることに感謝します。
生徒一人一人が，自分の持ち味と友だちの持ち味を組み合わせて，成長できるよう，
励ましてください。
そのために，常にそばにいて，生徒を見守っていてください
この願いを主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします
アーメン